CAMEDIA デジタルカメラ **OLYMPUS**

C-5050ZOOM

クイックスタートガイド

このたびは、オリンパス製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本書は、すぐに撮影にとりかかりたい方のために、撮影前の準備や撮影の基本、メニュー操作などを説明した簡単ガイドです。
詳しくは、別冊の取扱説明書をお読みください。

箱の中身を確認する

- ☐デジタルカメラ（本体）
- ☐ストラップ
- ☐レンズキャップ／レンズキャップひも
- ☐CR-V3リチウム電池パックLB-01（2個）
- ☐USBケーブル
- ☐AVケーブル
- ☐ソフトウェアCD（USBドライバなど収録）
- ☐取扱説明書
- ☐デジタルカメラ／パソコン接続操作説明書
- ☑クイックスタートガイド（本紙）
- ☐保証書・ご愛用者登録ハガキ
- ☐xDピクチャーカード（32MB）
- ☐xDピクチャーカード取扱説明書

電話等でのご相談窓口

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHS からは 0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間　平日　9：30 ～ 21：00
土・日、祝日　10：00 ～ 18：00
（年末年始、メンテナンス日を除く）

※ オリンパスのホームページ http://www.olympus.co.jp/ でデジタルカメラおよび関連製品の情報の提供をしております。

1AG6P1P1439--　VT406801

1. ストラップを取り付ける

1 **レンズキャップにひもを通します。**

2 **カメラのストラップ取付部に、図のようにストラップを取り付けます。**

3 **ストラップの長さを決めます。Ⓐの部分を引っ張ってゆるみをとり、ストラップが抜けないことを確かめます。**

4 **反対側の取付部にも同じように取り付けます。**

2. レンズキャップを取り外す

撮影するときは、電源をONにする前に必ずレンズキャップを取り外してください。

3. 電池を入れる

1 **パワースイッチが OFF の位置に合っていることを確認します。**

2 **電池カバーロックを⊖から☾の方向へスライドします。**

3 **電池カバーの ➡ マークに指をおいてⒶの方向へスライドさせ、Ⓑの方向に引き上げます。**
- カバーをスライドさせるときは指の腹を使って開けてください。爪などを使うとけがをすることがあります。

4 **図のように電池の向きを正しく合わせて入れます。**

リチウム電池パックの場合

単3型電池の場合

単3型電池の場合は、カメラ底面に電池挿入方向を示す表示があります。

5 **電池カバーで電池を押さえながらⒸの方向に閉じて、Ⓓの方向にスライドさせます。**
- カバーの端を押すと、カバーが閉まりにくくなります。
- 正しく閉じられると電池カバーは固定されます。

6 **電池カバーロックを☾から⊖の方向へスライドします。**

4. xD ピクチャーカードを入れる

1 **パワースイッチが OFF の位置に合っていることを確認します。**

2 **カードカバーを開けます。**

3 **カードを入れます。**
- xDピクチャーカード／スマートメディア用挿入口に、図の向きにまっすぐ奥まで差し込みます。
- 挿入口に xD ピクチャーカードを入れる位置を示すイラストがあります。

4 **カードカバーをカチッという音がするまで閉じます。**

●カードを取り出す

1 **カードを一度奥に押し込んで、そのままゆっくり戻します。カードが手前に出て止まります。カードをつまんで取り出します。**

注意
カードを取り出す際にカードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

注意
- xDピクチャーカードとスマートメディア、コンパクトフラッシュとマイクロドライブは、それぞれ同じ挿入口を使います。1つの挿入口に2枚のカードを同時に入れることはできません。
- カメラの電源が入っているときは絶対にカードカバーを開けたり、カードや電池を取り出したりしないでください。カード内のデータが破壊されるおそれがあります。破壊されたデータの復旧はできません。

静止画を撮る　P

1 **モードダイヤルをＰにして、パワースイッチを ON にします。**

2 **ファインダ内の AF ターゲットマークに被写体を合わせます。**

3 **シャッターボタンを軽く押して（半押し）、ピントを合わせます。**
- ピントと露出が固定されると、緑ランプが点灯します。
- フラッシュが自動で発光するときは、オレンジランプが点灯します。

4 **半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます（全押し）。**
- 撮影されます。
- カードアクセスランプが点滅し、カード記録が始まります。
- 緑ランプの点滅が終わると、次の撮影が可能になります。

●カメラの電源をOFFにする

パワースイッチを回して、OFFを白い線の位置にあわせます。

静止画を見る

1 **モードダイヤルを ▶ にして、パワースイッチを ON にします。**
- 液晶モニタが点灯し、最後に撮影した画像が表示されます。（1コマ再生）

簡単再生（Quick View）
モードダイヤルが ▶ 以外でも、▣ ボタンをすばやく2回続けて押すと、画像の再生ができます。

2 **十字ボタンまたはダイヤルで、見たい画像を表示します。**

●十字ボタン

●ダイヤル

ムービーを撮る

1 **モードダイヤルを 🎥 にして、パワースイッチを ON にします。**
- 液晶モニタが点灯し、使用しているカードで記録できる撮影可能秒数が表示されます。

2 **液晶モニタを見ながら構図を決めます。**

3 **シャッターボタンを全押しして撮影を始めます。**
- ファインダ横のオレンジランプが点灯します。
- ムービー撮影中は 🎥 マークが赤く点灯します。

4 **もう一度シャッターボタンを押して、撮影を終了します。**

ムービーを見る

1 **モードダイヤルを ▶ にして、パワースイッチを ON にします。**
- 液晶モニタが点灯します。

2 **十字ボタンまたはダイヤルで、再生したい 🎥 マークの付いた画像を表示させます。**

3 **Ⓞを押します。**
- トップメニューが表示されます。

4 **◇を押して［ムービープレイ］を選択します。**

5 **◇◇を押して［ムービー再生］を選択し、Ⓞを押します。**
- ムービーが再生されます。再生が終わるとムービーの先頭に戻ります。

6 **再びⓄを押すとメニューが表示されます。◇◇を押して［再生］［コマ送り］［中止］を選択し、Ⓞを押します。**

再生　：もう一度再生します。
コマ送り：コマ送りをします。
中止　：再生を中止します。

画像にプロテクトをかける

残しておきたい大切な画像は、プロテクト（保護）を設定してください。

1 **十字ボタンまたはダイヤルで、プロテクトをかけたい画像を表示します。**

☞「静止画を見る」

2 **O-n（プロテクト）ボタンを押します。**
- プロテクトされた画像には O-n マークが表示されます。
- プロテクトを解除するには、再び O-n ボタンを押します。

画像を消去する（1 コマ消去）

1 **十字ボタンまたはダイヤルで、消去したい画像を表示します。**

☞「静止画を見る」

2 **🗑（消去）ボタンを押します。**
-「1コマ消去」画面が表示されます。

3 **◇◇を押して［消去］を選択し、Ⓞを押します。**
- 画像が消去され、メニューが終了します。

ボタンとダイヤル

→ (灰)	：撮影時の機能
→ (黒)	：再生時の機能

メニューで操作する機能

撮影時のメニュー機能

ムービー録音（ムービー撮影時のみ）

ムービー撮影時に音声を録音します。

［撮　影］タブ	
ドライブ	撮影方法を［単写］［高速連写］［連写］［AF連写］［BKT］から選択します。
ISO感度	ISO感度を［オート］［64］［100］［200］［400］から選択します。
マイモード選択	[My] モード撮影時に使用するマイモードを選択します。
フラッシュ選択	外部フラッシュを使用して撮影するときに、［内蔵＋外部］［外部］［スレーブ］から選択します。［スレーブ］を選択した場合は、内蔵フラッシュの発光量を調整します。
スローシンクロ	フラッシュモードをスローシンクロに設定したときの効果を［先幕効果］［赤目・先幕効果］［後幕効果］から選びます。
ノイズリダクション	長時間露光時に、画像に発生するノイズを軽減します。
デジタルズーム	光学ズームの最大倍率からさらに高倍率（最大約10倍）のズーム撮影が可能です。
フルタイムAF	シャッターボタンを半押ししなくても、カメラを向けている被写体に常にピントを合わせます。
AF方式	オートフォーカスの方式を［iESP］［スポット］から選択します。
スチル録音	静止画撮影時に音声を録音します。
パノラマ	カードのパノラマ機能を使って、パノラマ撮影をします。
合成ツーショット	連続して撮影した2枚の静止画を合成します。
ファンクション撮影	［モノクロ］［セピア］［白板］［黒板］の特殊効果をつけた撮影をします。
ヒストグラム表示	画像のヒストグラム（輝度分布）を表示します。

［画　像］タブ	
画質モード	撮影する画像の画質や画像の画像サイズを選択します。 静止画　：RAW、TIFF、SHQ、HQ、SQ1、SQ2 ムービー：HQ、SQ
ホワイトバランス	光源に応じて、適切なホワイトバランスを設定します。
WB補正	ホワイトバランスを微調整します。
カスタムWB登録	お好みのホワイトバランスの設定を登録します。
シーンプリセット	［ポートレート］［風景］［夜景］の撮影に適した画質にします。
シャープネス	画像の鮮鋭度を調節します。
コントラスト	画像のコントラスト（明暗の差）を調節します。
彩度	色合いを変化させずに色の濃さを調節します。

［カード］タブ	
カードセットアップ	カードをフォーマットします。

［設　定］タブ	
設定クリア	カメラの電源をオフにしたときに設定内容を保持するかどうかを選択します。
[言語]	液晶モニタに表示される言語を切り換えます。
PW ON設定	電源をONにしたときに液晶モニタに表示されるスタートアップ画面の選択をします。
PW OFF設定	電源をOFFにしたときに液晶モニタに表示されるシャットダウン画面の選択をします。
レックビュー	撮影した画像の記録中に、その画像を液晶モニタに表示するかどうか選択します。
ビープ音	カメラの警告音をオフにしたり、その音量を変更します。
操作音	カメラの操作音をオフにしたり、その音と音量を選択します。
シャッタ音	シャッターボタンを押すときの音をオフにしたり、その音と音量を選択します。
マイモード設定	[My] モードで撮影するときの設定を登録します。
ファイル名メモリ	ファイル名のつけかたを変更します。
ピクセルマッピング	CCDと画像処理機能のチェックを行います。
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調整します。
日時設定	日付と時刻を設定します。
m／ft設定	マニュアルフォーカス時に表示される長さの単位をメートル、またはフィートに切り換えます。
ビデオ出力	テレビの映像信号方式に合わせて［NTSC］［PAL］から選択します。映像信号方式は国によって決まっています。
ショートカット設定	お好みの機能をショートカットメニューに登録します。
カスタムボタン設定	お好みの機能をカスタムボタンに登録します。
スーパーコンパネ表示	液晶モニタを使用して撮影していないときに、液晶モニタにコントロールパネルと同様の情報を表示します。
AFイルミネータ	低輝度時にAFイルミネータを点灯させます。

再生時のメニュー機能

自動再生

記録されている静止画を順に表示します。

ムービープレイ（ムービー再生時のみ）	
ムービー再生	ムービーを再生します。
インデックス作成	撮影したムービーを 9 分割画面で表示するインデックス画像を作成します。
ムービー編集	ムービーの編集を行います。

情報表示

画像の撮影情報をすべて表示します。

ヒストグラム表示

静止画再生時にヒストグラム（輝度分布）を表示します。

［再　生］タブ※	
録音	撮影した静止画に音声を記録します。

※［再生］タブはムービー再生時は表示されません。

［編　集］タブ	
RAW編集	RAWで撮影した画像の画質やホワイトバランスなどを設定して、別の画像として保存します。
リサイズ	撮影した画像の画像サイズを小さくして、別の画像として保存します。
トリミング	撮影した画像の一部を拡大して、別の画像として保存します。
コピー	画像をカード間でコピーします。［全コマ］［選択コマ］から選びます。

［カード］タブ	
カードセットアップ	カードをフォーマットします。 カード内の全ての画像・データを消去します。

［設　定］タブ	
設定クリア	カメラの電源をオフにしたときに設定内容を保持するかどうかを選択します。
[言語]	液晶モニタに表示される言語を切り換えます。
PW ON設定	電源をONにしたときに液晶モニタに表示されるスタートアップ画面の選択をします。
PW OFF設定	電源をOFFにしたときに液晶モニタに表示されるシャットダウン画面の選択をします。
画面登録	スタートアップ画面やシャットダウン画面に自分で撮影した画像を使用できるように登録します。
再生音量	再生時の音量を調節します。「PW ON設定」「PW OFF設定」で選択した音の音量も調節されます。
ビープ音	カメラの警告音をオフにしたり、その音量を変更します。
操作音	カメラの操作音をオフにしたり、その音と音量を選択します。
モニタ調整	液晶モニタの明るさを調整します。
日時設定	日付と時刻を設定します。
ビデオ出力	テレビの映像信号方式に合わせて［NTSC］［PAL］から選択します。映像信号方式は国によって決まっています。
インデックス表示	インデックス再生時に、液晶モニタに一度に表示する画像の枚数を設定します。

注意

・モードによって設定できるメニュー機能は異なります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。